

JAISE: Japan Association for International Student Education

留学生教育学会

Newsletter 第42号 2013年12月

事務局: 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-58-1 石山ビル 6 階

公益社団法人東京都専修学校各種学校協会内

TEL: 03-3378-9601 FAX: 03-3378-9625 e-mail: jaise@tsk.or.jp

[ホームページ <http://www.jaise.org>]

I. 2013 年度の活動報告

会長 野水 勉 (名古屋大学)

本年 8 月 24-25 日留学生教育学会・研究大会 (於、北陸大学) 中に行われました総会にて、2013-14 年度の学会会長留任を正式にご承認いただきました。今以て、甚だ力不足ですが、会員の皆様のご協力とご支援を宜しくお願いいたします。

北陸大学に主催していただいた研究大会は、同大学の骨折りで、馳浩衆議院議員と中国における日本語教育の中心大学から天津外国語大学修剛学長ほか 4 名の先生方を招聘していただき、それぞれ講演とシンポジウムで、大変に意義のある議論が行われました。悪天候にもかかわらず約 120 名の参加者を数え、東京以外で行われた研究大会の参加者数として最大規模となりました。シンポジウムでは、日本の留学生受入れの 6 割を占める中国の学生にとっても日本留学の魅力が大きく低下し、留学生数も減少に転ずるおそれがある現状が報告され、制度面を含めた環境改善の取り組みの必要性、そして本学会が基盤としている日本語学校、専門学校、そして大学との連携が重要であることが改めて強調されました。

2014 年の研究大会は 8 月 9-10 日に東北大学で開催することが早々に決定しました。テーマはまだ検討中ですが、注目していただく内容となることは間違いありません。

本ニュースレターの最後に報告されているように、この 2 年間会員数が着実に伸びております。留学生担当教職員分科会や短期留学プログラム分科会の活動もますます活発になっており、日本語学校・専門学校分科会の設立に向けた準備も着手しております。

本ニュースレターと共に同封されている今年の学会誌『留学生教育』は、投稿された論文・報告数が昨年を上回るものの、掲載許可された論文・報告数が昨年以下回ってしまいました。留学生教育に関わる、説得力のある研究・調査活動に裏付けられた、学会の発信力をさらに高めていきたいと所存ですので、会員の皆様の質の高い精力的な研究・調査活動を大いに期待しておりますので、この点も宜しくお願いいたします。

(1) 研究大会開催について

第18回研究大会は2013年8月23日(金)・24日(土)の2日間、北陸大学 太陽キャンパス、薬学キャンパス(実行委員長:笠原祥士郎先生)にて開催しました。23日(金)のシンポジウムは講演とパネルディスカッションの2部形式で実施され、24日(土)は留学生に関する諸問題を題材とした20件の一般発表が行われました(詳細後述)。

(2) 学会誌『留学生教育』について

編集委員会(編集委員長 松見法男先生)のもと、査読委員を充実させ、より質の高い学会誌を目指しました。今回不採択になった原稿も次回是非再挑戦して頂きたいと思います。

(3) 分科会活動について

第8回短期留学特別プログラム分科会(世話人代表岡田昭人先生)を、2013年9月5日(木)品川/京都大学東京オフィスで開催いたしました(詳細後述)。

また、2014年3月7日(金)～8日(土)に京都大学国際交流センターにおいて留学生担当教職員分科会を開催する予定です。詳細が決まりましたらHPやメーリングリストでご案内いたします。

(4) HP (www.jaise.org) の充実化について

留学生教育学会では活動内容を広く周知するためにホームページの充実を図ってまいりました。学会誌への投稿要項、研究大会・分科会の報告書等を公開していますのでご利用ください。トップページの「JAISEからのお知らせ」では学会事業にかかわらず情報提供を行っています。

(5) メーリングリストの開放について

2012年12月よりメーリングリストへの投稿を会員に開放しております。投稿時には会員個別のIDならびにパスワード(PW)が必要となります。投稿方法などについては右記アドレスにアクセスしていただき、操作方法等ご確認のうえご利用ください。

http://www.jaise.org/jaiseml/ml_post.cgi?

積極にご活用いただき、情報交換にお役立てくださいますようお願いいたします。

ご注意とお願い

- ◇ このメーリングリストは差出人がすべて「JAISE メーリングリスト管理人」と表示されます。本文の中で投稿者が確認できるようお願いします。
- ◇ 会員の所属団体以外の機関が主催する事業等に関する情報提供についても情報提供する会員名を明示するなどご配慮をお願いします。

II. 第18回留学生教育学会研究大会総括

実行委員長 笠原 祥士郎(北陸大学)

2013年8月23日(金)～24日(土)、第18回留学生教育学会研究大会が北陸大学で開催され、約120名の参加がありました。

第一日目、野水勉氏(会長・名古屋大学)の会長挨拶、小倉勤氏(北陸大学理事長・学長)の主催校代表挨拶があり、授賞式では田口香織氏(東北大学)に奨励賞、佐藤由利子氏(東京工業大学)に優秀論文賞がそれぞれ授与されました。「留学生交流の展望-今なすべきことと今後のゆくえ」をテーマとしたシンポジウムでは、馳浩氏(衆議院議員)、佐藤稔晃氏(文部科学省高等教育局学生・留学生課留学生交流室室長補佐)両名の基調講演の後、修剛氏(天津外国語大学校長)、劉利国氏(大連外国語大学日語学院院長)、張佩霞氏(湖南大学外国語与国際教育学院副院長)、佐藤稔晃氏、田口香織氏、横田雅弘氏(明治大学)、野水勉氏らによるパネルディスカッションが行われ、中国からの留学生の動向や日本国内での就職にどう結び付けていくかなどを中心に活発な意見交換が行われました。

同日夜には同大学アネックスファームにて懇親会がもたれ、余興として留学生による民族舞踊や歌、ピアノ演奏、学会会員による歌とピアノ演奏、北陸大学教員によるのこぎり演奏らが披露され大いに盛り上がりました。

第二日目の一般発表では2会場に分かれ20名による発表があり、留学生の学生支援や事例発表などが行われました。

最後に、近藤佐知彦氏(副会長・大阪大学)の今大会の総評、主催校を代表して周航氏(北陸大学)の挨拶があり、第18回留学生教育学会研究大会は幕を閉じました。

今回の大会は、急な悪天候にもかかわらず多くの参加者に恵まれ、皆様方からのさまざまなご支援・ご協力により無事に終了することができました。ご尽力をいただいた皆様方へ心より御礼を申し上げます。誠に尽力下さった関係者のみなさまに心からお礼申し上げます。

Ⅲ. 第8回短期留学特別プログラム分科会

「留学生交流支援制度の評価と今後の展望」報告 世話人代表 岡田 昭人（東京外国語大学）

2013年9月5日に京都大学品川オフィスにて留学生教育学会・短期留学分科会第8回会合がもたれた。

本会合の主旨は、「留学生交流支援制度」を中心としたものであった。諸外国に所在する大学へ留学する日本人学生に対し、日本学生支援機構（JASSO）が教育活動に必要な経費を支援し、国際交流の拡充を図り、日本と諸外国との相互理解と友好親善を増進させ、かつ「グローバル人材」の育成と国際競争力の強化を推進している。

留学生教育学会・短期留学分科会では、こうした環境下で短期の留学交流を活発化・活性化させるためにビジョンを関係者間で構築・共有するための場を提供するものであった。学期単位や年単位の交換留学のみならず、平成23年度から始まったショートステイやショートビジットといった新たな枠組みについても視野に入れながら情報交換を行った。

第8回会合は以下のようなプログラム構成であった。午前中は2つの基調講演を行った。

基調講演①

文部科学省からの話題提供と討議

文部科学省： 佐藤稔晃氏（高等教育局学生・留学生課 留学生交流室 室長補佐）

平成25年度概算要求に関する「学生派遣」を中心に、「スーパーグローバル」などの新たな政策についての報告があった。

基調講演②

日本学生支援機構からの話題提供と討議

日本学生支援機構： 山本哲也氏（留学生事業部留学生交流支援課長）

平成25年度のプログラム設計への示唆や、奨学金申請に向けての留意点などが説明された。

また分科会の午後では、「留学生交流支援制度の評価と今後の展望」をテーマとして、2つのセッションを開催し、主に小グループでのディスカッションと情報交換を行った。

セッション1

「留学生交流支援制度の成果をどうアピールするか？」

話題提供： 野水勉（留学生教育学会会長）

グループ・ディスカッション/まとめ

セッション2

「留学生交流支援制度の課題」

課題の整理： 岡田昭人（短期プログラム分科会世話人代表）

グループ・ディスカッション/まとめ

2つのセッションでは日本の高等教育を取り巻く環境について意識・知識の共有をおこなうとともに、短期留学事業を活性化させていく方向性について話し合う場をもった。先ずセッション1では留学生教育学会長の野水勉会員より「留学生交流支援制度」の概要と現状が説明され、その問題点や成果などについても言及がなされた。続くセッション2では、午前中の基調講演並びに野水氏の発表を念頭に置きながら、グループ別によるディスカッションが行われた。主催者側の提示したテーマ（1. 奨学金の選定基準（短プロ）、2. 奨学金の選定基準（SS/SV）、3. 受入れ30万人計画のロードマップ、4. 派遣計画のロードマップ、5. 「スーパーグローバル大学」、6. 宿舍関係、7. 非常勤講師の問題、8. その他）をはじめ、「留学生交流支援制度」に関する様々な問題が話し合われた。

今回の短期留学プログラム分科会では、行政レビューによって平成25年度から大幅な見直しとなった「留学生交流支援制度」に対して、現場で多くの意見が出された。その一方で、公金によって運営されている奨学金支給の成果がどのように上がっているか、説得力のある根拠資料が不十分であるとの指摘から、制度の存続に対して批判が出ていることも事実である。したがって、今回の分科会では、この制度を存続・発展させていくためにどのような成果をアピールしていくことが有効かを議論すること、それと合わせて、制度を

円滑に運用していくための現場からの建設的な改善提案を提出することとなった。

IV. 奨励賞・功労賞・優秀論文選考報告

この賞は、前会長の都河明子氏が本学会の発展のため、また会員増のために、ご自身で100万円を寄付し、2005年に設立したものです。

2013年度奨励賞・功労賞・優秀論文賞の選考結果は次の通りです。

■奨励賞受賞者

田口 香織 氏（東北大学）

■功労賞受賞者

受賞者なし

■優秀論文賞受賞者

佐藤 由利子 氏（東京工業大学）

「ネパール人日本留学生の特徴と増加要因の分析—送出し圧力が高い国に対する留学生政策についての示唆—」

V. 留学生相談指導事例

会員の皆様からご提供いただいた留学生相談指導事例 215 例を掲載した事例集を有料（1,000 円）で頒布しています。「学習・研究」「対人関係」「健康・医療」など 12 の事例に分けた報告書になっています。日頃の留学生指導においてご参考いただければ幸いです。

VI. 事務局便り

1. 第19回 JAISE 研究大会について

次回開催の日程と場所をお知らせいたします。また、申込等につきましては次号（第43号、5月発行）にてご案内いたします。

■日程 2014年8月9日（土）、10日（日）

■場所 東北大学（宮城県仙台市）

2. 年会費納入のお願い

今年度年会費につきまして、11月末日入金が確認できない方に請求書を同封しておりますので1月末までに指定口座までお振込みくださいますようお願いいたします。

請求書が同封されている方ですすでにご入金いただいている場合は申し訳ございませんがお手数でも事務局（jaise@tsk.or.jp）までご一報くださいますようお願いいたします。

なお、会則により2年間未納の場合は翌年度自動退会となりますのでご注意ください。

3. 会員数

2013年12月1日現在 351人

【一般 257、学生 48、海外 25、賛助・機関 21】

新入会員のお知らせ [2011年7月～11月入会順] (敬称略)

○一般会員		許斐ナタリー	北見工業大学
小河原 義朗	北海道大学	天木 勇樹	明治大学
福田 倫子	文教大学		
岩淵 泰	岡山大学		
矢吹 栄子	東日本国際大学	○学生会員	
小宮 全	新宿情報ビジネス専門学校	坂田 祥子	西南学院大学大学院
北出 慶子	立命館大学	村上 昂音	東京外国語大学
坂本 利子	立命館大学		
稲山 訓央	北陸大学	○海外会員	
島田 和久	岡山大学	邱 學瑾	台中科技大学
小山 晶子	東京外国語大学	孫 愛維	開南大学
ミックメーヒル	カイラン	大東文化大学	